

A 家族で確認、緊急時の連絡方法

災害に備えて、緊急時の連絡方法を家族で確認しておくことが大切です。東日本大震災の時のような大きい地震が発生した場合は特に安否の確認が必要になります。また、一人で行動している時に、なんらかの事由で意識不明に陥る場合も考えられます。

それらに備え、以下に示す「防災連絡

一覧表」を作っておくとよいでしょう。



- (1) 家族のことを書いた「わが家の防災連絡一覧表」
- ・血液型、既往症やアレルギーなどの情報は家族が負傷して意識がないときに救命措置を迅速に行うための有益な情報となります。また、いち早く連絡が取れるよう緊急連絡先を記入しておくことも大切です。

※「わが家の防災連絡一覧表」を記入し持ち歩くことで、いざという時の対応に役立ちます。ただし、入れておく場所を工夫する必要があります。電話番号など個人情報がかかれていますので、紛失には十分注意して下さい。

- (2) 災害時の連絡手段

- ・大規模な災害が発生すると、電話回線がパンクしてしまい、連絡が取れない状況になる場合があります。その時「災害伝言ダイヤル（171）」を利用する方法があります。これは災害発生時にのみ使用可能なサービスで、どのように使用するのか一度チェックしておくといでしょう。



わが家の防災連絡一覧表

(トビタテ)				本人	続柄
					名前 (ふりがな)
					生年月日
					(RH) 血液型
					(聴覚障害・アレルギーなど) 持病・既往症など
					(携帯・勤務先・学校など) 連絡先